

音楽を聞いた後の多面的感情状態尺度

21111009 雨笠正太郎

私は音楽を聞いた後の多面的感情状態尺度について、発表します。まず、多面的感情状態尺度とは、人間の感情を8項目に分けた尺度の事で、抑鬱・不安、敵意、倦怠、活動的、非活動的、親和、集中、驚愕の8項目です。この8項目の中で更に5つずつ項目を分けて、全部で40項目を5段階で評価してもらいます。

実験方法は、先ほどの40項目を「通常の状態」「アップテンポの曲を聞いてもらった後の状態」「スローテンポの曲を聞いてもらった後の状態」の3回に分けて答えてもらい、集計し、分析しました。

結果として、今回の実験では有意差は見られませんでした。先ほどの40項目、多面的感情状態尺度の8項目、そして全体の49個の分散分析を行いました。有意差が出たのは驚愕の中の「はっとした」だけでした。

考察としまして、今回はデータを10人しか取れなかったので有意差が見られなかったのではないかと考えます。これから人数を増やして、男女比や年齢別などのデータ分けも出来れば面白い結果になるのではないかと思います。そして、音楽を聞いた後の多面的感情状態尺度だけではなく、音楽を聞いた後の計算問題の解く速さや、歩行速度なども調べてみたいと思います。以上です。